

TSIホールディングス

来期は成長戦略加速

EC、海外、M&A推進



齋藤社長

TSIホールディングスの齋藤匡司社長は来期、成長戦略を加速する。社長就任以来一年半となるが、2016年3～8月連結決算は減収ながらも増益で、経常利益は過去最高の12億円を計上した。経営基盤の強化／成長戦略を「8対2の割合で経営基盤強化策を優先してきた。来年は5対5まで成長戦略を加速させる」方針。

売上高に占めるEC比率は上半期で14%、110億円規模。来期はトップダウンによる売上目標を設定する。EC比率20%以下の企業は50%伸ばす目標。それを達成するための、EC用在庫を確保し、EC用MD計画を策定、担当者も配置する。店舗からの送客によるサイト訪問者数増、VMD機能強化による購買率向上、DB（ディストリビューション）機能強化による欠品防止にも取り組む、スマホのアプリの導入なども進める。越境ECも9月から開始した。

M&A（企業の合併・買収）／海外展開も加速する。海外では中国で展開する「ツボミ」が中国百貨店婦人服市場の落ち込みや暖冬で苦戦した。しかし、「海外はリスクをとっても市場開拓をしていく」方針。来年以降は中国パレルのM&Aを含め、中国市場を開拓していく。東南アジアではタイを視野に入れる。

化粧品では6月にフリソン（イスラエルの自然派化粧品）を買収した。化粧品はファッションに近く、利益率も高く、安定している「事業。他の化粧品M&Aを含め、3年で100億円規模までの拡大を図る。

商品デザイナー、MDを対象とするシーズンのクリエイティブ・ティレ

クションもこのほど10社画・クリエイション力を対象に実施。今後も企業強化していく。